

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	4		
科 目 名	国際保健医療活動Ⅰ				
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.2	4.0	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
国が変われば、医療制度も変わります。いつでもどこの病院へ自由に受診できる日本では当たり前な国民皆保険、医療費も３割負担で済む。こんなに恵まれた国は世界でも珍しい。 このような素晴らしい医療を享受できているのは、医療従事者の献身的な働きがあるからこそである。それに甘えて日本人は些細なことで受診する傾向があり、本当に医療を必要とする人へのしわ寄せが及ぶこともある。 日本の良さを認識し、諸外国から学ぶこともあることを本授業で理解し、皆さんが実社会でも様々な考え方に対応出来ることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	関係法規				
担 当 者	市川 尚				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.0	4.1	4.0	4.2	
学生へのメッセージ					
診療放射線学科 3 年生の皆さん 前期に関係法規を 2 コマ担当した市川です。関係法規というと、なんだかつまらない印象がありますよね。実際、交通のルールのように、放射線を安全に使用するためのルールを暗記するという科目になるため、物理や計測のように、今までの知識を応用しにくい内容となっています。 そんな中、まじめに授業に取り組んでくれたことが非常に印象に残っています。皆さんは将来、放射線という取り扱い方によっては人体に有害となる光を用いて検査や治療に携わります。そんなときに、診療放射線技師として行ってよい行為、ダメな行為をしっかりと頭で理解したうえで業務をすることが非常に重要です。臨床実習でも求められる知識ですので、授業で学んだ知識を今後にお役立てください。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	放射線安全管理学				
担 当 者	市川 尚				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.4	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
診療放射線学科 3 年生の皆さん 前期に放射線安全管理学を担当した市川です。本授業は 15 コマで構成されており、私はそのうちの半分の授業を担当しました。実はこの科目は昨年度から大きく変更されています。昨年度、私は 1 コマのみの担当でしたが、今年度は 8 コマ担当するということに加え、中間テストも今年から新たに導入したため、みなさんに効果的な授業が展開できているか内心不安な状態でした。 しかし皆さんの授業評価を見ると、学生の満足度は昨年度より飛躍的に向上していました。授業評価及び定期試験の自由記述欄にて皆さんからいただいたコメントでは、中間テストがあつてよかった、資料が見やすかった、授業が分かりやすかったなど、ポジティブな意見をたくさんもらうことができ、内心ほっとしました。 放射線安全管理学は、国家試験の重要科目であることに加え、近年臨床でも重要性が増している科目です。診療放射線技師の学術大会でも、被ばくに対する考え方や被ばくの最適化への関心が非常に高まっています。 皆さんの点数や授業態度を見て、皆さんであれば病院に就職してから被ばくの最適化を進めていけると強く感じました。大学で学んだ知識が基礎となり、それを臨床現場で活用することで応用性が付加され、業務改善や安全な医療の提供につながっていきます。皆さんの強みを臨床現場で存分に発揮し、医療の進歩に貢献してください。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	画像診断機器学実習Ⅱ				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
この科目は、2 年次の「画像診断機器学Ⅰ・Ⅱ」での講義をふまえ、実際の装置やファントムを使用し、主体的に体験をすることで、学びをさらに深めることを目的としています。 2 年 次の画像診断機器学実習Ⅰでは、放射線関連機器を使用しての実習が初めてということもあり、実習への取り組み方、実験手法、データのまとめ方、レポートの書き方などかなり苦勞をしている様子が見受けられましたが、今回の画像診断機器学実習Ⅱではレポートの書き方やデータのまとめ方、考察など、2 年次と比較して随分と成長が見られたように感じました。 昨年度、プレゼンの資料作成時に、個人差が生じており、グループによっては、特定の学生さんのみに大きな負担が強いられるという状況があったこと把握しております。そのため、今回は、各個人の取り組みをきちんと評価できるように、各個人でプレゼン資料を作成をしてもらうように改善をいたしました。 本学科の特徴は、講義と実習の割合が 1:1 となっており、他の教育機関と比較し、かなり多くの時間を実習に当てています。画像診断機器学は国家試験科目であり、200 点中 20 点を占める重要な科目ですが、科目の特性上、苦手とする学生さんがとても多いです。 この科目(実習)が、画像診断機器学の知識・技術の定着のみならず、近い将来、診療放射線技師として、患者さんに安心安全の医療を提供するための一助になれば幸いです。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）				
担 当 者	倉本 卓				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.9	4.3	4.3	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
2年生となり、1年次と比較して多くの専門科目が実施されて大変だったと思います。そんな中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。 学生による授業評価調査における、「この授業でよいと思った点」に関して、本当に多くのコメントいただきましたこと、大変うれしく思います。中でも、「絶対に覚えてほしい箇所にマークがあって分かりやすかった」との声を多くいただきました。講義の中で、本当に多くの内容を扱っていきましましたので、皆さんの理解につながってよかったと思います。また、総合評価においても、高い評価を頂けたこと、大変光栄に思います。ありがとうございました。私の講義を通じて、本講義内容の重要性と共に、診療放射線技師の魅力や、やりがいなどを、臨床現場にいた経験者として皆さんに少しでも伝えられていたらうれしく思います。 一方、「この授業で改善すべきだと思った点」に関して、“座席指定にして欲しい”のコメントをいただきました。これらご指摘いただいた点に関しては、後期からの講義から改善できるよう、努めていきたいと思います。 2年生になり、専門科目が多く急に難しい講義が増えたように感じられているかもしれませんが、皆様は3年後には医療現場の最前線に立つことになります。ここで学んだことは、臨床業務に直結することばかりです。少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができればと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	画像解剖学				
担 当 者	倉本 卓				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
3 年生になり、専門科目や実習科目が多くなり非常にタイトな時間の中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。臨床実習を後期に控え、皆様の学習に対する態度・意欲が大きく変化する様子を目の前に見て、とても頼もしく感じました。定期試験の難易度は、過去の国家試験レベルを加味し作成したにもかかわらず、非常に高い得点を取る方が多くいらっしゃったのは、ひとえに皆さんの努力の賜物だと思っています。 学生による授業評価調査において、非常に高いスコアを付けていただいたのは非常にうれしく思います。しかし、これは私の講義内容がよかったということではなく、皆様自身がこの科目の重要性を理解し、深く取り組もうとした結果、学習し知識を増やしていくことに対し喜びを持てたことが起因しているのではないかと思います。 いよいよ臨床実習ですね。皆さんがこれを目にするときには、臨床の厳しさを少しは体験しているときかもしれませんね。テキストで学んだことがどのように臨床現場で必要とされているか、また、これまでなぜ多くのことを学ぶ必要があったのか、考えることができていれはうれしく思います。少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。これからも皆さんの成長のお手伝いできればと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	画像解剖学演習				
担 当 者	倉本 卓, 島田 隆史, 市川 尚				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
3 年生になり、専門科目や実習科目が多くなり非常にタイトな時間の中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。本年度より担当教員も 3 名体制になり、教員各自の得意な分野の視点から皆さんに情報を提供することができたのではないかと考えています。 少しレポート作成が負担になった演習になったかもしれませんが、その作成自体がご自身の学習に直結していたことに気が付いて取り組んで頂いたのではないかと考えています。使用したサブスクリプションサービスは臨床実習期間も使用できるものです。上手く利用し、学習に活かしてください。本科目で得られた知識を、臨床でどのように活かされているかを臨床実習を通して学んできてください。 これからも、少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができればと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	診療画像技術学実習				
担 当 者	倉本 卓，平松佐和子，谷端有布，金本雅行，桂 千広，後藤聡汰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.2	4.4	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
3 年生になり，専門科目や実習科目が多くなり非常にタイトな時間の中，皆様よく学習されていたと思います．お疲れさまでした． 本実習は，実際の臨床で多く目にする，または皆さんが就職したら必ず行う X 線撮影の技術について，多く時間を割いた実習でした． 予習とレポート作成が必須の実習であり，多くの学習が必要だったかもしれませんが，その作成自体がご自身の学習に直結していたことに気が付いて取り組んで頂いたのではないかと思います． 本実習で学習した内容が，実際の臨床でどのように実践されているか，臨床実習中で自身の目で確認し，その理解を深めてください． これからも皆さんの成長のお手伝いできればと思っています．					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	4		
科 目 名	先進医学・技術学				
担 当 者	倉本 卓，對間 博之，南 利明，長谷川 大輔，小寺 吉衛，五月女 康作，山本 鋭二郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.9	4.8	4.7	4.9	
学生へのメッセージ					
本科目は、選択科目ながら、多くの方に受講頂き嬉しく思います。講義では、外部からの教員も含め、7名の教員から、放射線画像診断や放射線治療の領域に限定せず、医学全般、理工学、情報学など最先端の研究、あるいは最新の装置や器具等に関する開発技術など、広い領域における科学の最先端情報が提供されたと思います。 みなさんはあと半年後には社会に出ることになると思います。診療放射線技師の仕事は、マニュアル通りに業務をこなすことだけでなく、常に最新の技術や知識を取り入れ、臨床に応用することが求められます。今講義で学んだことが、今後のみなさんの人生において、何かのきっかけになることを教員一同望んでいます。 少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができればと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	基礎生物学				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	3.8	3.9	3.7	3.9	
学生へのメッセージ					
お疲れさまでした。「生物学」を少しは好きになっていただけたでしょうか。 「基礎生物学」で学んだ「生き物のしくみ」は、診療放射線学科の専門分野で「ヒトという生き物」を理解するときにはきっと必要になります。専門分野を学ぶ過程で基礎的な「生物」のことが分からなくなったら、2308 研究室の松元を訪ねてください。 それから「基礎生物学」の毎回の manaba テストで培った継続的な学修習慣をこれからも続けてください。 いただいたコメントは… 良かった点として、manaba 小テストや演習で復習ができること、スライドや manaba の PDF に図や写真が多いことがあげられていました。→ありがとうございます。「生身の生き物」を扱っていることを感じていただくための写真や、生き物の中で起こっている反応をイメージしていただくための図を、なるべく多く用いることにしています。 改善点のコメントはなかったのですが、昨年度より評価が下がっていたので、どこに問題があったのか振り返ってみます。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医学概論				
担 当 者	味木 和喜子、溝越 祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.0	4.1	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
講義お疲れ様でした。授業はいかがでしたでしょうか。公衆衛生と聞くと、少し皆さんの専門からは外れていると思う学生さんが多いかもしれません。ただ、歴史を振り返ると、昔から感染症と闘ってきた我々人類にとって、この公衆衛生の分野というものは、人類を守るうえでとても大切な分野であることがわかります。コロナウイルスに関する予防に関しても、この公衆衛生学の知識が豊富に利用されています。7回の授業は国家試験をベースに講義を行いましたので、公衆衛生学の楽しさと大切さというものを存分に伝えることはできなかったと思いますが、とても大切な学問であるということは知っておいてほしいです。 定期試験問題は国家試験に対応できるだけの問題は出したつもりですので、その知識を維持し続けることができるならば、国家試験に臨むだけの力は十分あるので自信を持ってください。とはいえ、3年後まで本講義知識を覚えているという人は少ないと思いますので、4年生になったらまた覚えなおしましょう。今後の皆様の頑張りを期待しております（溝越）。 授業への様々なコメントありがとうございました。溝越先生の講義は、スライドや小テスト、定期試験の問題など、とてもわかりやすくて身につく数々の工夫がなされました。教官ビギナーの私も、大変、勉強させていただきました。これからの授業に活かしていきたいと思います。皆様には、平成が終わり、激動の令和の医療を支える医療従事者として、歴史を踏まえた医療の「今」と「これから」や、集団としての健康を守る公衆衛生の大切さを考える基礎になれば幸いです（味木）。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	腫瘍学				
担 当 者	味木 和喜子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.3	4.1	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
授業への様々なコメントありがとうございました。教室の狭さではご不便をおかけしました。今後、教室と学生数とのバランスに応じて、座席指定にするなど工夫していきたいと思います。小テストが高評価だったので、来年度はもう少し問題数を増やして、内容を深めていこうと思います。日本人の2人に1人が、がんになる時代です。医療従事者としてはもちろんのこと、日常生活においても、自身と大切な人のために、「がんにならない、がんと向き合う、がんと寄り添う」を実践してくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	データサイエンス基礎				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.0	4.1	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
本講義と連続で行った「応用数学」では遠隔と対面を交互に実施しました。この形態は今年はいじめての試みです。アンケートでは遠隔でわからないことが対面でわかったとのコメントをいただきました。遠隔と対面のいいところ取りができる方法と思いますので、可能な科目ではこの形態を取りたいと思います。 また、統計学について学べるところが良かったとのコメントもいただきました。データサイエンスの基礎は統計学です。これからあらゆる分野でデータサイエンスの重要性は増していくと思いますので、ぜひ学習を続けてください。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	応用数学				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.0	4.0	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
「応用数学」で学んだ推測統計は研究の結果をまとめる際に重要です。また、後半で学んだ三角関数から微分積分、フーリエ解析は「解析学」と呼ばれる数学の分野です。この中でもフーリエ級数、フーリエ変換はMRIを扱う「診療画像解析学Ⅰ(MR)」や、「医用画像工学」等で非常に重要になります。式を解くとなるとかなり大変ですが、フーリエ級数はどんなものだったかイメージできるこの後で学ぶ科目を理解しやすくなると思います。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	医療情報学				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.0	4.0	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
「医療情報学」の定義として、授業では下記を紹介しました。 「医療情報学は医療における人的資源、物的資源、情報資源を必要な場所・人・時に最善の状態で提供するロジスティクス（兵站）を追究する実学である。」（木村映善） 医療情報学の守備範囲は非常に広く、医療機関の経営までもが含まれます。国家試験でも様々な問題が出題されるので対策が難しい科目ですが、過去問ベースで学習することで必要な点数は確保できると思います。 自由記述では手書き文字が見つらいとの指摘をいただきました。気をつけるようにします。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	4		
科 目 名	メディカルデータサイエンス				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.0	4.5	4.6	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
「メディカルデータサイエンス」では Python で畳み込みニューラルネットワークを使った物体認識まで体験しました。最近は生成 AI によるコード生成が可能となっており、以前とくらべるとプログラミングへのハードルはかなり下がりました。何か解決したい課題が出てきた際には、プログラミングも選択肢に入れてください。皆さんと AI を学べて楽しかったです。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医用工学Ⅰ（電気工学）				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.7	4.0	4.1	3.9	4.0	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。 1 年前期で学ぶ事柄としては難しかったかもしれませんが、大学生としての学び方をトレーニングするにはよいのかもしれません。高校の数Ⅲに関連した事柄を用いましたが、この授業内容の本質をとらえるには必要なものです。理解が足りないところは自分で補わないと仕方ありません。今回気になったのは受講中の態度です。もちろん全員ではなく一部の人です。目線の位置がほかの人と明らかに違う人がいました。また、私語が目立つ人もいました。後期からは専門基礎の科目も増えますので、きちんとやらないととんでもないことになります。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	医用工学実習				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	3.9	3.9	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「授業はわかりやすい内容であった。」「授業の進行速度は適切だった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。 実習後の片付けが不十分なケースがありました。データが取れて安心してしまうのかもしれませんが、次に使う人のことを考えていくようにしましょう。Word でレポートを書きたいという意見もありましたが、授業の最初の方で説明した通り、他の人が書いたものをコピーする人が出てくるので、手書きでやっていただきたいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	放射線計測学				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.0	4.0	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
放射線計測学を系統的に学習するというコンセプトでしたが、範囲が広いので、たいへんであったと思います。今回も前期の前半と後半とで試験範囲を分けて中間試験を実施しました。後期の放射線計測学実習でさらに理解を深めてもらいたいと思います。アンケートに教科書をもっと使った方がいいと思うとありましたが、教科書に載っていないことで、大事なことや、国試に出る内容もあります。また、教科書は予習していることを前提としています。 ①この授業でよいと思った点 ・スライドが見やすかった。 ・練習問題があった点。小テストやプレテストがあったこと。 ・習う内容が多いので、中間試験を実施してくださって良かったです。 ②この授業で改善すべきだと思った点 ・教科書をもっと使った方がいいと思う					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	放射線物理学Ⅱ				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	3.7	4.0	3.9	4.0	
学生へのメッセージ					
放射線物理学を系統的に学習するというコンセプトでしたが、放射線物理学Ⅰでの理解度を元に、進めたつもりです。 ①この授業でよいと思った点 ・質問返しを丁寧にしてもらえるので、質問がしやすい。プレテストで自分の理解度を確認することができ、深く学ぶことができる。 ・MRIのナタデココ面白かった ・講義後のレポートが復習になって、理解が深まったと感じました。 ・小テスト・練習問題プリント・プレテストがあった点。授業資料をまなばにアップしていた点。復習がしやすく、繰り返し見ることができて、良いと思う。 ・スライドが見やすかった。 ・小テストやレポートを実施してくれたこと。 ・テスト100%ではなくて日頃の小テストやレポートで点数を取れるのはいいと思いました ②この授業で改善すべきだと思った点 ・プレテストの配点をもっと高くして欲しい。授業中のスライドに矢印が多くて結局何が言いたいのかよく分からなかった。 ・スライド資料の誤字脱字が少しあったこと。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射線科学概論				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.1	4.2	4.0	4.3	
学生へのメッセージ					
診療放射線技師になる者に必要な放射線に関する基礎知識を学ぶというコンセプトの授業でしたが、大学に入って最初の授業でもあり、戸惑う人もいたようです。授業中にも何度も話しましたが、何人かは生徒から学生への進化を期待しています。 ①この授業でよいと思った点 ・実際の放射線科医の先生の授業がモチベーションの上がるような実践的な授業でよかった ・今まで考えたこともなかった考え方を得ることが出来たり、そこから調べてみるという意欲が倍增された講義だった。 ・スライドがわかりやすかった。 ・スライドで分かりやすかった ・スライドに、写真や図がたくさんあったので分かりやすかったです。知らないことを、詳しく教えて頂いたので、良かったです。 ・先生が変わったので、いろんな人の話が聞けた事はとても良かったです。 ・放射線技師の仕事内容や放射線治療について、色々知る機会だった。 ②この授業で改善すべきだと思った点 ・配布される講義資料の文字をもう少し大きくして欲しいです。 ・もっと授業数が多くてもいいと思いました。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	放射線取扱概論				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.2	4.4	4.2	4.5	
学生へのメッセージ					
本年度から開講した科目で、今まで、ボランティアでやっていた放射線取扱主任者試験対策を授業としました。結果を期待しています。					
① この授業でよいと思った点					
・覚悟が決まりました。					
・色んな先生方に様々な分野について教えていただけたのがとてもありがたかったです。					
② この授業で改善すべきだと思った点					
・早めの時期に、どの時点でどこまでできたらいいかをある程度目安つけていただけたらもっと具体的で効率的なに学習計画を立てれた気がします。					
・来年度から、前期前半にしてほしい。あと、後期にも次年度の試験に向けての講座を設置してほしい。講義資料に関してはPDFで載せてほしい。					
・前期前半の方が定期試験も比較的近くなく出席しやすいと思った。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射線物理学Ⅰ				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	3.8	3.9	3.8	4.0	
学生へのメッセージ					
放射線物理学を系統的に学習するというコンセプトでしたが、何人かは生徒から学生への進化を期待しています。今季から一年前期からになり、後期からの頑張りに期待します。放射線は目に見えない物ですので、それをいかにイメージするかが理解のポイントになります。 ① この授業でよいと思った点 ・実験をして実際に観測してみたこと ・スライドがマナバ上に載せられていたので、復習や課題がしやすかったです。ありがとうございました。 ・スライドを使った授業で分かりやすかった。 ・実験が見れてよかった。ラドン濃度を測る時は面白かった。 ・優しい ・生徒の質問に対してとても丁寧に答えてくださった点です。 ・生徒の質問に答えてくれたところはいいと思う ・重要なところを繰り返し言ってくれた点。 ・内容自体難しかったけどグラフや図を使っていたので分かりやすかった ・アニメーションは分かりやすかった ・毎回小テストがあったので復習がしやすかった。レポートもまとめることでいい復習になった。 ② この授業で改善すべきだと思った点 ・スライドの文字をもう少し少なくしてほしい。 ・後期に関しても指定席にするべきだとも思います。自由席にすれば、もっと騒がしくなりそうだとおもいます。 ・プリントが見にくい。もう少し改善して欲しいです。 ・スライドがわかりにくかったです。教科書に載っていないプレテストの問題を詳しく解説してほしいです。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	薬理学				
担 当 者	藤原 央樹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.2	4.3	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
この学校に私なんかいない。私は薬剤師であり、学生の皆さんの望む資格取得者ではない。4年前に非常勤講師のお話をいただいた時にはそんな思いがありました。ただ病院で勤務しているときには放射線技師の先生方とお話する機会もあり、造影剤をはじめとした薬の現場での取り扱いや運用について議論する中で、その有用性や危険性について深い知識を持っておられるさまを見て、日頃より尊敬するとともに、放射線技師においてそういった薬の知識の必要性についても認識はしておりました。薬剤師にとっても、造影剤や放射性医薬品は数多ある薬の中でも特に重要かつ特殊なものであり、取り扱いには十分注意が必要なものです。そういったことを薬剤師として学生の皆さんに伝えたいという思いが強くなり、講師のお話を受けさせていただきました。 ほぼ全ての学生さんが薬理学をしっかり勉強して単位を取得していただいた結果を見ると、そのことを伝える事ができたのではないかと胸をなでおろしております。また授業評価結果を見させていただき、その危険性や有用性だけでなく薬学の面白さを伝える事が少しはできたのではないかとうれしく思っております。 今の子どもたちが今ない職業に就く確率は、なんと 65%（2013 年のダボス会議にて）ともいわれています。10～20 年後には 50%弱の仕事が AI 等により自動化されるともいわれています（2015 年オックスフォード大学による調査）。この 10 数年でテクノロジーは急激に進化し、それにあわせて世間の需要も変化・多様化してきており、どんどん新しい職業が生み出されています。それと同時に淘汰もされていっています。You tuber や V tuber、ドローンパイロットに e スポーツなんか昔はありませんでした。私たち薬剤師で言うと、ただ薬を袋に詰めるだけの薬剤師・薬局は淘汰される時代になりつつあります。仕事は、自分に合った仕事を「選ぶ」時代から、自分に合った仕事を「造る」時代になりつつあります。現在の診療放射線技師という枠組みだけにとらわれず、時代の流れを感じとれるように視野を広く持って、環境の変化に対応できる立派な人間になってください。 『人の世に道は一つということはない。道は百も千も万もある。』坂本龍馬 将来医療業界、あるいはそれを超えて、またお会いできるのを楽しみにしております。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	基礎数学				
担 当 者	竹内 弘明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.3	4.2	4.3	4.0	4.3	
学生へのメッセージ					
高校の学び直しという趣旨から、短期間の集中講義でした。高校時に数学Ⅱや数学Bを履修していない学生にとっては難しかったかと思いますが、最後までよく頑張りました。 大学での学びはこの高校の内容を基盤としてさらに高度な授業内容になっていきます。 難しく思うときや、分からなくなることもあるかと思いますが、でも、そんなときは基礎・基本から復習し、もう一度学び直せば必ず理解できるようになります。決して諦めることなく頑張ってください。 そして、自分の夢を大事にしてください。夢は力を与えてくれます。難しいなと思ったり、諦めそうになったときには、夢を力に変えて頑張ってください。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	基礎化学				
担 当 者	有瀬 一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.2	3.6	3.6	3.7	3.6	
学生へのメッセージ					
授業評価ありがとうございました。大学1回生の段階で、すでに診療放射線技師という明確な目標をもった皆さんを誇りに思います。 授業については、高校で化学を履修されていない方や、化学が苦手という方を対象とした授業で、しかも、必修ではない授業において、どのように皆さんの学習のモチベーションを上げるべきかに苦心しました。今回は簡単な宿題を出して、採点して返すといった試みを実施しましたが、あまり効果があったとはいえないと感じています。次年度は、講義の資料の穴埋めや、講義中の演習を取り入れたほうが良さそうだと感じており、来年その点も考慮にいれて工夫したいと思います。 講義では、化学の基礎知識のみならず、社会人として生きていく知恵のようなものを教授しましたので、その点については良く覚えておいていただき、3年半後（意外に早いです）に社会人になったときに役立ててほしいです。また一回目の授業のときに、自分の本当になりたいものを書いて提出していただきましたが、実際に目標を達成するかどうかは日々の努力は必要ですが、目標の明確化と繰り返し自分のやりたいものを確認していくことで、ゆるぎない自信がついてきてより早く達成出来るようになります。 皆さんには、輝ける未来があります。もちろん人それぞれいろんな人生ですから、うまくいかないこともあり、テストの点が悪いこともあります。大丈夫です。自分自身に矢印をしっかりと向けて、15年周期で自分の人生をデザインし、自分を信じと自分と向きあってください。必ず皆さんには素晴らしい人生が待っています。 講義では、化学の基本中の基本に力点をいれました。これらの内容は上回生になったときに必ず役に立ちますので、しっかりと復習しておいてください。 授業で使った教科書は1冊で高校化学の授業と大学1回生で学ぶ化学の橋渡しすることができる良本です。折をみて復習し、就職しても必ずもっておくようにして、仕事の現場で記憶が曖昧なことや、不明点があれば、高校化学の原点にもどりながら社会人経験を積んでいくとやがて大きな力になり、自信をもって仕事することができるようになります。社会に出た後も、創意工夫する柔軟な思考を身に付け、新たな壁や目標に挑戦していきましょう。皆さんの輝け					

る未来に期待しています。

有瀬 一郎

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	放射線写真学				
担 当 者	竹内 浩美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.1	4.0	4.3	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
講義の中でも何度も話しをしましたが、デジタル技術の開発でアナログ画像が急速にデジタル画像に変わったように、医用画像分野の技術変革は非常に目まぐるしいものがあります。 そして、読影を大きく変えると思われるＡＩの時代が迫っています、Ｘ線診断情報を的確に画像化する役割は益々重要な位置付けになるでしょう。また、画像作りにおいて、読影情報、画像診断情報を理解していることが、大変重要な要素になると考えます。 2 学年になり、初めて見聞きする医療診断画像、医用専門用語の理解、習得に苦労している毎日と思います。日頃の勉強も大変かもしれませんが、やりがいのある仕事と思います。 “ 頭脳の回転（思考）は、休み過ぎると錆びついてしまうそうですが、回転を続けると擦切れるのではなく、更に滑らかに回転するようです ” 頑張ってください。					